

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立鍋島中学校

5月に文部科学省による全国学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和4年4月19日（火）

■ 調査の対象学年

中学校3年生

■ 調査の内容

（１）教科に関する調査

今年度は〔国語、数学、理科〕の教科で実施
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容 ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

（２）生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

生徒に対する調査	学校に対する調査
・国語や数学、理科への興味・関心、授業内容の理解度、人との関わりや自分自身のことなど生活の諸側面に関する調査	・授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況などに関する調査

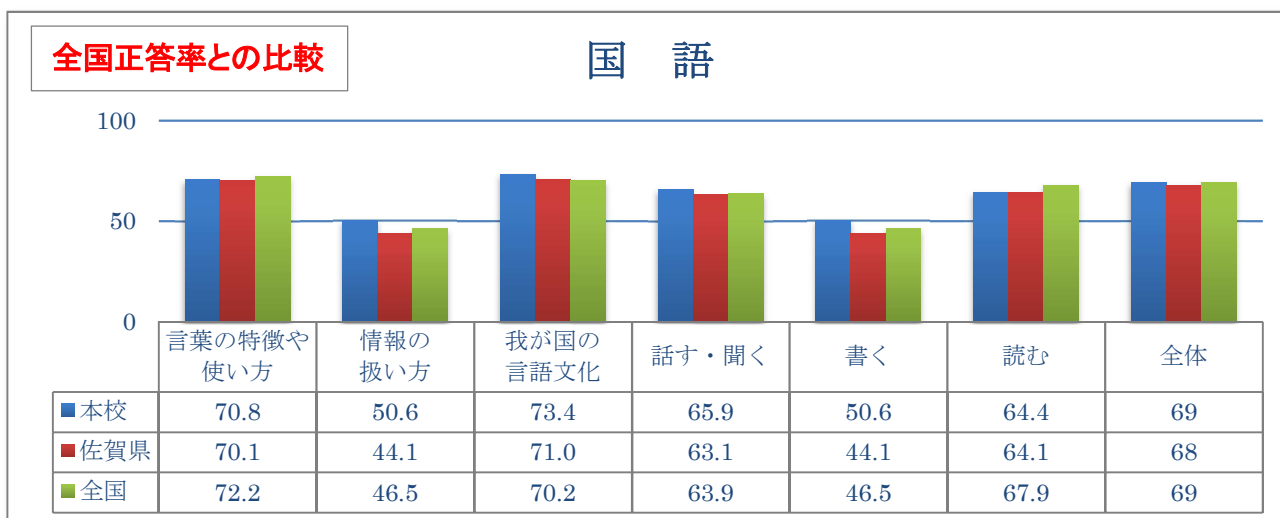
■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は中学3年生が対象であり、教科は国語と数学、理科で実施しました。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

調査結果及び考察

1 国 語

(1) 結果



全体を見ると、県の平均より1ポイント高く、全国の平均とほぼ同じである。観点別では、「情報の扱い方」、「書くこと」・「我が国の言語文化」が全国平均より高く、特に「(2) 情報の扱い方に関する事項」・「書くこと」は、全国平均より約4ポイントも高く、基礎的な学力定着の学習効果が出ている。一方、「読むこと」が全国平均を下回っており、無解答が多い。複数の情報・語句を自分なりにまとめて書いて答えることへの苦手意識を解消することが課題である。

(2) 成果と課題

言葉の特徴や使い方

基礎・基本的な知識の定着度は全国と比べても同水準であるが、言葉の広がり・深まりに乏しく、今後も語彙力を伸ばす積み重ねの学習が更に必要と思われる。

情報の扱い方

情報の正しい伝達のためにも、雰囲気にならずに、相手の状況や立場を考慮しつつ正しく確かに理解する姿勢が今後必要になる。

我が国の言語文化

言語文化に対する知識は学習の成果として出ているが、今後もさらに学習の積み重ねによる知識の定着が望まれる。

話すこと・聞くこと

『学び合い』による授業の成果で、話し合いの発言の意図を適切にとらえることができている。今後、自分の言葉で相手に正確に伝える学習を強化したい。

書くこと

書くための基本的な知識や技能については問題ないが、書くための構想に対して、今後さらに学習する必要がある。

読むこと

登場人物の心情を表した描写を読み取る能力が高い。反面、読み取ったことをまとめ、自分の考えを書くという思考を問う設問に弱く、情報を適切に取捨選択してまとめる力の必要性が感じられた。

(3) 学力向上のための取組み

【学校では】

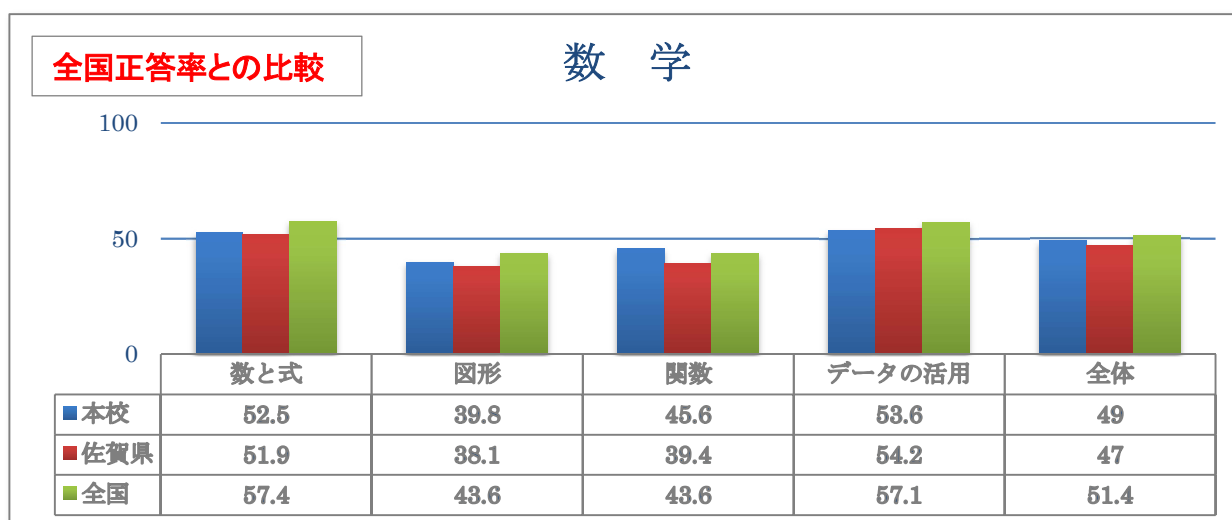
- 『学び合い』の授業を続け、他者とのコミュニケーションをとる中で、自分の考えを筋道たてて自分の言葉で伝える学習へとつなげていきます。
- 理解したことを文章でまとめたり、自分の意見を文章にして発表したり、言葉の言い換えをするなどの理解から表現への授業を意識して行っていきます。
- 語彙力をつけるために、意識して言葉の言い換えをすることや、漢字を文脈の中で使う機会を増やしていきます。

【ご家庭では】

- 新聞や報道番組に触れさせる中で、自分の感想や考えを、自分の言葉で答えられるよう、問いかけや言葉かけをお願いします。
- 日常生活の中で読書に親しみ、漢字や新たな語句・語彙を使うことを心がけるような言葉かけをお願いします。

2 数学

(1) 結果



全体は、県平均より2ポイント上回っている。関数の分野では、全国平均を2ポイント上回っており、2年間の『学び合い』の効果が出てきていると考えられる。しかし、解答の求め方の説明や文字式を使った説明などは、正答率が低い。また、数学に苦手意識をもつ生徒が多く、無解答率が高かった。今後の課題としては、授業の中で、『学び合い』を行うときに、相手が分かるように説明をするという課題に取り組ませていく必要があると考えられる。

(2) 成果と課題

数と式

県平均を上回っているが、全国の平均を下回っている。数の性質が成り立つ理由を説明する力は身に付いている。結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだす能力を高めることが今後の課題である。

図形

県平均を上回っているが、全国の平均を下回っている。説明問題に取り組もうとする意欲を高めることが今後の課題である。

関数

県平均も、全国平均も上回っている。基本的な語句の意味を理解し、問題解決の方法を数学的に説明する力が身に付いている。与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取る力を高めることが今後の課題である。

データの活用

県平均も、全国平均も下回っている。確率については、同等の力が身に付いている。データの傾向を的確に捉えたり、箱ひげ図から分布の特徴を読み取ったりする力を身に付けることが今後の課題である。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 授業において、『学び合い』活動を取り入れ、自分の考えを表現する機会を設けます。
- 「めあて」と「振り返り」を意識させ、毎時間振り返りシートを記入します。
- 単元の中で、小テストを実施し、こまめに自分の力を再確認する機会を設けます。

【ご家庭では】

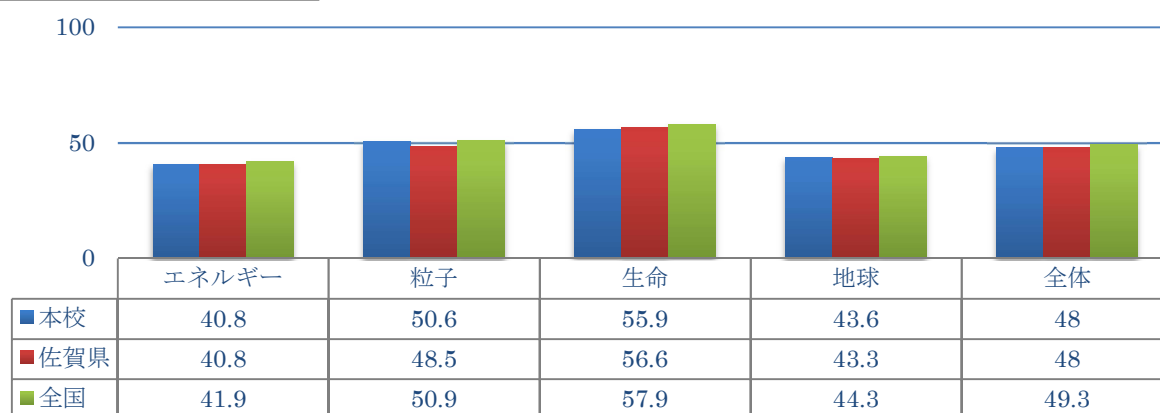
- 授業で習ったことをその日のうちに1問～2問でいいので、ワークで復習するように声かけをお願いします。
- テスト終了後は、必ず解き直しをして、振り返りをするように声かけをお願いします。

3 理科

(1) 結果

全国正答率との比較

理 科



エネルギー分野は県と同等で、粒子分野は県を2.1ポイント上回っている。地球分野も0.3ポイント上回っている。しかし、生命分野が県を0.7ポイント下回っていた。全体としては県と同等であった。

(2) 成果と課題

エネルギー

図を読み取る問題はよく解けているが、文章を読み取れていない問題があり、無解答が多くみられた。

粒子

身近な現象についての問題は、経験と知識が結びついており、全国よりも高い正答率であった。

生命

ダイオウグソクムシとダンゴムシの相違に関する問題は、ダイオウグソクムシ自体を知らない生徒が多く、問題文の中の説明が読み取れていないようであった。

アリの行列に関する問題は、文章と説明が長くて多いために知識を整理できていないようであった。つまり、多くの情報を整理し、その中から適切な答えを見つけることが苦手であると思われる。

地球

天気図を選択する問題はよくできており、多くの情報から適切な図を選択できていた。ただし、多くの情報は文章ではなく、図やグラフである。そのことから、文章より視覚的な情報を整理する力が高いと考えられる。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

○身近な現象に目を向けさせ、実験・観察を多く取り入れ、『学び合い』をもとに深く考えさせる授業を増やしていきたいと考えています。

【ご家庭では】

○学習の定着を図るために、家庭での振り返りを大切にしてくださいようお願いします。学校で行った実験や観察を、その日のうちに家庭で復習するよう指導したいと思いますので、お子様と一緒に確認していただきますようお願いします。



4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣について》

調査の項目	本校%	県%	全国%
朝食を毎日食べていますか。	90.8	93.1	91.9
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	88.0	82.5	79.9
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	93.1	93.9	92.2

- ・朝食を食べる習慣については、県・全国の平均をやや上回っている。
- ・就寝時刻の習慣については、県・全国の平均を大きく上回っている。
- ・起床時間の習慣については、県平均をやや下回っており、全国の平均をやや上回っている。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	県%	全国%
平日 3 時間以上勉強している。	5. 2	5. 0	9. 9
平日 2 ～ 3 時間勉強している。	19. 5	18. 7	25. 3
平日 1 ～ 2 時間勉強している。	35. 6	36. 4	34. 3
平日 30 分 ～ 1 時間勉強している。	22. 4	23. 5	17. 0
平日 30 分より少ない。	12. 6	11. 2	8. 5
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	56. 3	55. 2	58. 5
平日 1 日当たり 1 時間以上読書をしている。	55. 7	54. 6	48. 6

- ・「家庭学習 3 時間以上」は、県平均と同程度であるが、全国平均を下回っている。
- ・「1 ～ 2 時間以上」の割合は、約 60 % である。(家庭学習時間の目安／中 3 ・ 100 分)
- ・「家で計画を立てて勉強する」項目については、県平均をやや上回り、全国平均より下回っている。
- ・「平日 1 時間以上読書をしている」については、県・全国の平均を上回っている。

《人との関わりのこと》

調査の項目	本校%	県%	全国%
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか。	43. 7	43. 1	40. 7
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	83. 3	78. 6	78. 7
1, 2 年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表をしていましたか。	67. 2	57. 2	63. 3
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	81. 1	77. 8	76. 9
友達と協力するのは楽しいと思いますか。	93. 1	94. 1	93. 7

- ・話し合う活動を通じて考えを深めたり広げたりすることについては、県・全国平均を上回っている。
- ・自分と違う意見について考えることを楽しいと思っている割合も県・全国平均を上回っている。
- ・友達と協力することが楽しいと感じている割合は、県・全国平均をやや下回っているが、90 % を超える生徒が楽しいと感じている。



《自分自身のこと》

調査の項目	本校%	県%	全国%
自分には、よいところがあると思いますか。	75.3	76.6	77.3
将来の夢や目標を持っていますか。	69.5	66.6	67.3
人が困っているときは、進んで助けていますか	89.7	90.2	88.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	98.8	97.6	96.4
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	98.3	96.1	95.0
学校に行くのは楽しいと思いますか。	82.2	82.5	82.9

- ・「将来の夢や目標をもっている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、県・全国平均を上回っているが、「自分にはよいところがある」「学校へ行くのは楽しい」については、県・全国平均を下回っている。
- ・「人が困っているときは進んで助けている」については、全国平均を上回っているが、県平均を下回っている。

(2) 鍋島中学生の生活習慣や学習習慣に関する調査結果と、正答率の関係

- 「朝食を毎日食べている」「同じ時刻に起きている」と答えた生徒の正答率が高い。
- 「読書が好き」と答えた生徒の正答率が高い。
- スマホ等の使い方について、「家の人との約束を守っている」と答えた生徒の正答率が高い。
- 1日2時間以上ゲームをしたり、スマホでSNSや動画を視聴したりしている生徒の正答率が低い。
- 「土日の勉強時間が1時間以下」と答えた生徒の正答率が低い。
- 「新聞を読んでいない」と答えた生徒の正答率が低い。

(3) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 『学び合い』による学習をさらに深化させ、ともに学び、ともに伸びる学習集団づくりに努めます。
- 家庭学習においては、鍋島中学校区の小中連携で作成した「家庭学習のパンフレット」を活用し、保護者との連携を図りながら家庭学習の充実に取り組みます。

【ご家庭では】

- 家庭学習が定着するよう、本校や県が作成した「家庭学習のパンフレット」を活用されながらご支援をお願いします。
- ゲームやSNSに時間を使いすぎないように、時間などについて、家庭での約束ごとを決めてください。



家庭学習の充実にむけて

開成小・鍋島小・鍋島中

学習を進めていく中で、鍋島中学校区の3校では、3つの玉を大切にしていきます

がまん玉

やりたいことも

がまんして親子で

学習に向かおう

みがき玉

苦手なことにも

こつこつ取り組み、

自分をみがこう

みつけ玉

学習のおもしろさや

自分の得意なことを

見つけよう

■■ 家庭学習の進め方 ■■

- テレビを消して、静かなところで
- 毎日、決まった時間に決まった場所で
- 机の上は整理整頓、姿勢を良くして
- まずは宿題、すんだら自学（自主学习）

■■ 家庭学習時間のめやす ■■

学年 × 10 + 10 分

小1：20分	小6：70分
小2：30分	中1：80分
小3：40分	中2：90分
小4：50分	中3：100分
小5：60分	



中学校卒業時の子どもの姿を思い描きながら、小学校1年時より発達段階に応じた学習を家庭と学校が協力して進めていしましょう。鍋島中学校区3校では、義務教育9年間を見通した教育を実践していきます。

家庭学習の手引き

～保護者用リーフレット～



佐賀県教育委員会 令和4年4月



家庭学習の習慣化で、
子どもたちの「学ぶ力」を
育てましょう！



「学ぶ力」って、どんな力ですか？

- 意欲や興味・関心
- 挑戦する気持ち
- 粘り強く取り組む姿勢 など

学びに向かう意欲や姿勢



- 自分で内容や時間を決める
- 自分で内容の軽重を判断する
- 自分で取り組む順序を決める など

学び方



これらは、子どもたちにとって、将来にわたり、自分で考え、判断して、課題を解決したり、いろいろなことに積極的に取り組んだりするために必要な力です。



「学ぶ力」を育てるためには、どんなことが必要ですか？

ご家庭で大切にしてもらいたいことは、クローバーの葉に示した4つです。

生活のリズムを
ととのえましょう！

学ぶ雰囲気をつくりましょう！

家庭学習の習慣化
4つのススメ

小さな「がんばり」を
ほめましょう！

家族の対話を
大切にしましょう！

効果のある“声かけ”や“関わり方”を、
『家庭学習の習慣化4つのススメ』

として整理しました。

ぜひ、ご家庭でも取り組んでみて
ください。



こちらから



くわしいことは、
右のQRコード、または、インターネットの検索画面で

佐賀県教育委員会 学力向上に向けた取組

検索 してみてください。

家庭学習の習慣化 に向けた 4つのススメ

保護者として実際にどんな“声かけ”や“関わり方”ができますか？



例えば、こんな“声かけ”や“関わり方”をしてみてくださいか？

生活のリズムを
ととのえましょう！

例えば、

次の日の準備は寝る前までに！

毎月〇日は、ノーテレビ・
ノーゲームデー

など

例えば、

今日は、「いいね！」を
何回伝えた？

チャレンジに失敗はつきもの、
チャレンジする姿を見ている

など

小さな「がんばり」を
ほめましょう！

学ぶ雰囲気を
つくりましょう！

例えば、

手始めに、学習場所の
整理・整頓！

テレビを消す など学習に
集中できる環境をつくる

など

例えば、

朝は「おはよう」のひと声を
家族全員で

「今日ね…」から始まる
家族の対話

など

家族の対話を
大切にしましょう！

他のご家庭で、どんな“声かけ”や“関わり方”をされているのか、参考
にしてみたいので、①ページのQRコード、または、インターネットの検索
画面から確認してみます。



～わが家の場合～



②ページの“声かけ”や“関わり方”を参考にご活用ください。

生活のリズムを
ととのえましょう！

学ぶ雰囲気をつくりましょう！

小さな「がんばり」を
ほめましょう！

家族の対話を
大切にしましょう！

※ 『家庭学習の習慣化に向けた4つのススメ』の全てでなくても、ご家庭の状況にあわせて、取り組むことができるススメ（特に大切にしたい、こだわりたいススメなど）を選んでもいいと思います。



保護者の皆様へ（活用の一例）



このページでは、③ページを活用した一例を紹介していますが、必要な内容を示したページを家族の目につく場所にはっていただくなど、ご家庭の状況にあわせた使い方をされても構いません。

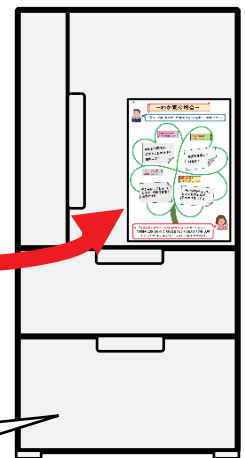
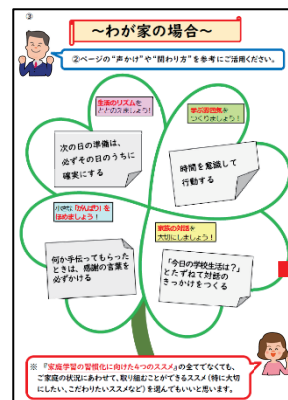
ステップ1

「～わが家の場合～」を作成し、 家族の目につく場所にはりましょう！

【活用例】

②ページを参考に、子どもたちと一緒に話し合ったことを③ページのクローバーの葉の中に直接記入したり、付せん紙に記入したものをはりつけたりして作成しましょう。

※ 付せん紙を使うと、実践できたことをはがしたり、新たに取り組むことを追加してはりつけたりする際に、便利です。



③ページを冷蔵庫など家族の目につく場所にはりましょう。

ステップ2

記入したことを家族で実践しましょう！

ステップ1 で決めたことを、家族みんなで実践しましょう。

ステップ3

「～わが家の場合～」を振り返りましょう！

時々、家族みんなで実践の様子を振り返ったり、新たに取り組むことを追加したりすると、より効果的な活用につながります。

継続と徹底を！

ご家庭で実践されたどんなによい取組も、一時的なものでは本当の力にはなりません。**大切なことは、その取組を「継続すること」・「徹底すること」です。**子どもたちが様々な変化のあるこれからの社会をたくましく生き抜くことができるよう「学ぶ力」を育てていきましょう。